



9月定例会

P2~3 9月補正予算

P4~5 4会計決算審査

P6~7 請願・陳情審査 委員会報告

P8~14 一般質問 7人の議員 村政を問う

P15 ぎかい懇談会のご案内

P16~17 村民インタビュー
学校運営協議会委員の皆さん

力をあわせて！
5年ぶりの運動会



サービスなどを増額

9月
定例会

議案第27号

日吉津村特別医療費
助成条例の一部改正

「概要」

児童（18歳に達する日以降の3月31日までの間にある者）の医療費に係る被保険者等負担金を医療費の全額とする。

「施行期日」

令和6年4月1日

「理由」

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、子どもの医療費に対する助成額を引き上げるとともに、所要の整備を行うための改正。

9月定例会は、9月4日から22日まで19日間の日程で開催され、条例の一部改正・補正予算・令和4年度決算・人事案件など17件を審議し、すべて原案どおり可決・認定・同意して閉会しました。



医院の待合室

議案第28号

一般会計補正予算

障がい児通所サービス助成

968万1千円

「理由」

転入や新規利用により、障がい児通所サービスの日数が増えた。

障がい者自立支援給付

674万5千円

「理由」

サービス利用人数や日数が増となった。

新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業

165万5千円

「理由」

新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害に関する措置。



具体的な説明を。

令和3年8月にワクチン接種された方が、接種後四肢筋力低下・感覚障がい等を発症された。

その後、国に被害救済を申請し、認定を受けた。

それを受け4年度・5年度の医療費を支給する。

鳥取県型強度行動障がい者入居等支援事業

120万円

「理由」

重度の強度行動障がい者を受け入れる支援施設に対して助成を行う。

ハゼの木樹勢診断委託料

17万円



樹勢診断について説明を。

日野川右岸改ハゼの木の樹勢診断を行う。

今後、取り扱いについて審議会で協議する。



村文化財「ハゼの木」

9月
補正予算

障がい児通所

補正予算額

- 一般会計.....1億4286万8千円
- 国民健康保険事業勘定特別会計.....10万8千円
- 後期高齢者医療特別会計.....5万9千円



令和5年度はハンドボール・柔道・空手などで全国大会に出場している。補助金の残高が減っているため今回補正を行う。

今後は選手への補助金の増額も考えていきたい。



スポーツ推進事業の内容は。

答 全国大会などに出場された選手に補助金を交付し、スポーツ優秀者への支援を行う。

・村スポーツ推進支援事業補助金
11万円



野菜摂取状況測定器



どのような測定器か。

答 野菜摂取の充足度を測定できる機器で、LEDを搭載したセンサーに指を置く。

ふれあいフェスタなどで使用予定である。

・野菜摂取状況測定器
使用料
14万1千円



役場一階フロア



時間外勤務への対策を伺う。

・時間外勤務手当
106万円



答 昨年からの各課の業務量調査などを行って、どのように均衡化するかの対策を講じている。適正な人員配置も考えていく。

同意第15号

村会計監査委員に

村上順一氏を同意

(任期4年間)

村上順一氏(海川)

を選任(再任)すること

について、議会の同意

を求めるもの。

同意第16号

村教育委員会委員に

下口哲司氏を同意

(任期4年間)

下口哲司氏(海川)

を任命(再任)すること

について、議会の同意

を求めるもの。

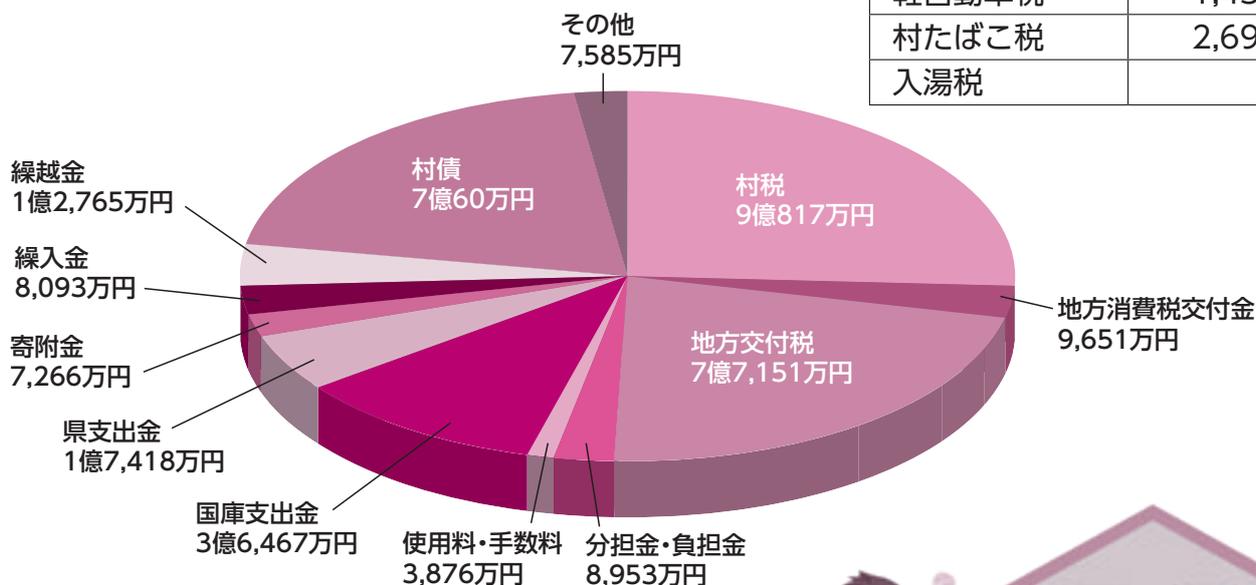


すべて全会一致で可決・認定

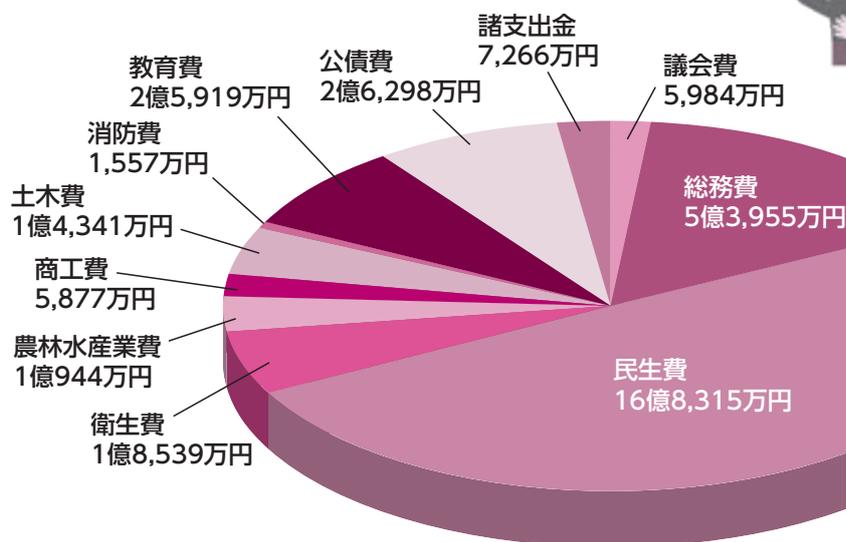
一般会計

【歳入合計額 35億107万円】

村税の内訳 単位：万円	
村民税	24,432
固定資産税	62,250
軽自動車税	1,434
村たばこ税	2,698
入湯税	3



【歳出合計額 33億8,999万円】



特別会計

特別会計決算 単位：万円		
	歳入	歳出
国民健康保険事業	36,314	36,303
後期高齢者医療	5,534	5,529

下水道事業会計 単位：万円		
	収入	支出
収益的収支	15,056	12,995
資本的収支	415	5,610

令和4年度
決算

4会計決算を審査し

実施された主な事業

新型コロナ経済対策商品券事業

4,418万円

村内の経済の活性化を図り、村民の消費補助・物価高騰に対する生活支援をおこなった。



保育所等複合施設整備事業

7億9,191万円

ミライトひえづ建設資金。令和5年2月第2期工事が完了した。



がんばる農家プラン事業

1,777万円

県の認定を受けたプランに基づき農業者が整備する施設や機械購入に助成をおこなった。



村道改良事業

3,705万円

村道交差点改良、歩道新設など通学路の安全確保と交通の円滑化を図った。



児童手当給付事業

6,281万円

0歳から中学校修了までを対象に子育て世帯の生活支援をおこなった。



農業水路等長寿命化・防災減災事業

407万円

主要排水路に監視カメラを設置し、大雨による冠水時、即座に対応できる体制を整えた。



決算審査特別委員会の意見

審査の過程で出た意見を、令和6年度予算編成に反映するよう村執行部へ提出しました。

【総務課】

・ふるさと納税の使途については、村民の意見を反映する場を設けられたい。

【福祉保健課】

・「まちの保健室」を有効活用するため保健師をそれぞれ各自治会に配置し実施されたい。
・児童館に正規職員を配属されたい。

【総合政策課】

・ひえづ113chの加入率向上に努められたい。
・一人で担当しているひえづ113chの制作体制を複数にされたい。

・コミュニティ活動支援事業を、自治会だけでなく広く村づくりに活用されたい。

【住民課】

・SDGsの活動を、村全体の重要施策として取り組まされたい。

【建設産業課】

・村の花チューリップの維持が危機に陥っている。行政主導で取り組みを強化されたい。
・適宜海岸の保安林を間伐し、環境整備に努められたい。
・ふれあい道路からヴェイロステに入る入り口を、カラー舗装されたい。

【教育委員会】

・村指定文化財の保護をさらに改善・強化されたい。
・中学生・高校生のボランティア活動のバックアップを強化し、推進されたい。
・村誌発行から40年近く経っている。早急に続編の刊行に向けて取り組まれたい。

請願1件・陳情2件を審査しました

9月定例会では、1件の請願、3件の陳情が提出され、「総務経済常任委員会」と「教育民生常任委員会」に付託されました。各委員会では「採択」「不採択」を決定し、本会議で報告。賛成・反対の立場から討論を行い、その後、全議員により請願・陳情原案の採決を行いました。

陳情第10号「日吉津村議会議員政治倫理条例の一部改正について陳情（コンプライアンス基準）」（陳情者 日吉津村の未来を考える会代表 石 操）については、継続審議となりました。

【教育民生常任委員会】

請願第1号 消費税インボイス制度の実施中止を求める請願
 【請願者】米子民主商工会会長 奥田清治
 【紹介議員】江田加代 議員

委員長報告 **不採択**

反対討論 江田加代 議員
 インボイス制度は、免税点制度や消費税の基本法である税制改革法に反する。納税義務者には赤字でも支払い義務が生ずる。

賛成討論 長谷川康弘 議員
 本制度導入により、複数税率の計算ミスを減らせる。また益税の減少が図れることから、本制度は必要と考える。

本会議結果 **不採択**

【総務経済常任委員会】

陳情第8号 日吉津村議会議員政治倫理条例の議会自らの審査会の設置について
 【陳情者】日吉津村の未来を考える会代表 石 操

委員長報告 **不採択**

討論なし

本会議結果 **不採択**

陳情第9号 日吉津村議会議員政治倫理条例の一部改正について陳情
 【陳情者】日吉津村の未来を考える会代表 石 操

委員長報告 **不採択**

討論なし

本会議結果 **不採択**

*反対、賛成討論は委員長報告に対するもの。採決は陳情原案に対し採択○、不採択×とするもの。

番号	件名	齊田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河中	橋井	松田	山路
請願第1号	消費税インボイス制度の実施中止を求める請願	×	×	○	×	×	○	×	×	×	議長は賛否表明しない
陳情第8号	日吉津村議会議員政治倫理条例の議会自らの審査会の設置について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情第9号	日吉津村議会議員政治倫理条例の一部改正について陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

常任委員会調査報告

教育民生常任委員会

- 調査目的 コロナ後の学校教育
- 調査日 令和5年7月27日

夏休み中であつたため、児童館とひえづっ子クラブを視察した。

仕事を持つ保護者にとって、子育ては重要課題であり、児童館の役割は大きい。子どもの成長に与える影響も大きく、保護者が安心して仕事ができるように、双方の信頼関係を構築しながら取り組んでいただきたい。

安心・安全に子どもたちが過ごせる施設であることが最重要課題である。利用者にアンケートなどを実施しながら、より質の高い児童館になるように努めていただきたい。

各委員から

- ・2階ホールに、手洗いやトイレが必要では。
- ・職員が少し余裕のあるローテーションが組めるように人員確保が必要だ。

などの意見が出た。



▲2階ホールで学習する子どもたち

総務経済常任委員会

- 調査目的 国道431号沿道の開発
日野川右岸道路
- 調査日 令和5年8月17日



▲国道431号沿道の開発予定地にて



▲日野川右岸道路

国道431号沿道について、村道富吉線の東側は工事着工され、コインランドリーと理髪店の出店が進行中である。その北側のエリアにおいては、ようやく進展がみられるようであるが、地元住民に対し、交通対策・騒音対策・利水計画など真摯な対応を取られたい。

日野川右岸道路については、旧国道線の王子製紙から日吉津下口に向かう土手下のカーブの問題をクリアし、国道431号からのアクセスが緩やかになるよう計画されている。令和10年度完成予定だが、地権者や近隣住民に十分な配慮をし、早期の実現を期待する。

村政を問う

7人の議員が 質問しました。



9月5日(火)

議員	ページ	質問事項
松田 悦郎	9	1. 防災の取り組みは 2. ふるさと納税の現状は
斉田 光門	10	1. 災害対策の見直しの状況は 2. 農業振興対策の状況は 3. 高規格道路の凍結解除は
前田 昇	11	1. ふるさと納税の使途決定に村民参画を 2. 村施策の民間委託と職員研修は 3. ヴィレステの利用拡大と運営は
石原 浩明	12	1. 空き家対策について 2. 特色ある教育活動について

9月6日(水)

橋井 満義	13	1. どうする「うなばら荘」
江田 加代	14	1. もう限界、物価高騰対策を 2. 在宅介護に支援を 3. 時代にあったごみ減量化を

*加藤修議員は9月5日に一般質問をおこないましたが、本人の意向により、議会ひえづへの掲載はしませんでした。



松田悦郎 議員

防災の取り組みは

村長 今年は風水害の訓練としたい



▲評価が高い消防団

Q

防災とは災害を防ぐことであり、このことを踏まえ、次の質問をする。

- ① 防災訓練は本番に近い訓練にすべきだ。
- ② 自主防災訓練後に防災士の講評を。
- ③ 防災備蓄状況は。
- ④ 箕蚊屋排水路の水害対策は。
- ⑤ 消防団員の確保は。
- ⑥ 消防団への評価は。

A

村長

① 本村が被災すると考えられることを想定し、今年は風水害の訓練としたい。

② 各自治会の訓練について、防災士に講評をお願いしたいと考えている。

③ 連携備蓄品は県内統一で定め、自治体規模により目標数量が割り振られており、災害時

に被害の少ない自治体から被害の大きい自治体へ物資を融通する。

④ 樋門管理を適正に行っていたかどうか重要であり、管理の徹底をお願いしている。

⑤ 条例では35人であるが、現在25名である。自治会から新規入団をお願いする。

⑥ 決して多くない人数であるが、ポンプ操法大会では県大会で2年連続の準優勝をされている。

高く評価をしている。

Q

今年6月の一部改正で、募集費用を含め、経費率は5割以下となった。次の質問をする。

- ① 寄附の件数と総額。

ふるさと納税の現状は
村長 適正な運営に心がけている

A

村長

① 寄附件数は1996件、寄附総額は6323万3千円。

② 地場産品の基準改正により、熟成肉と精米は県内産に限られているが、本村は精米を県産で対応している。

③ ふるさと納税の経費率は47%である。

④ 企業が寄附した場合、法人関係税から税額控除する制度である。子育て施策を応援していただけのような村長直筆の手紙や、管理職と担当課の名刺に記載し、PRに努めている。納税額は現在まで13社で1150万円である。



▲返礼品の一番人気は海鮮漬け丼の素 (村ホームページより)



斉田光門 議員

災害対策の見直しの状況は

村長 地域防災計画や訓練等で見直す

Q ①対策本部の体制状況は。

②防災計画の検証・見直しの状況は。

③自主防災のみならず各団体との災害協定締結の状況は。

A 村長

①災害警戒本部を立ち上げ、第一配備の体制を計画する。昨年度から県市町村、河川事務所等とオンラインにより、24時間連携できる体制をとる。

②昨年3月災害対策法の改正により避難基準の見直しがされた。村の災害対策本部について、実働職員を確保した。

③県及び市町村の相互応援、西部消防局、イオンなど15団体と締結している。

A 村長

①令和4年度が農業を継続するための施策、耕作放棄地などの現状・課題は。

②令和4年度が農業を継続するための施策、耕作放棄地などの現状・課題は。

③農業を継続するための施策、耕作放棄地などの現状・課題は。



▲氾濫寸前の佐陀川（平成24年9月）

Q

成は。

①水田農家の担い手確保・育成は。

②農業機械を助成する制度は。

③行政として個人農家

農業振興対策の状況は
村長 県やJAなどと連携している

①令和4年度が農業を継続するための施策、耕作放棄地などの現状・課題は。

②令和4年度が農業を継続するための施策、耕作放棄地などの現状・課題は。

③令和4年度が農業を継続するための施策、耕作放棄地などの現状・課題は。

Q

想は。

①日吉津村都市計画の未来構

②国道431号の道路沿線の状況は。

高規格道路の凍結解除は
村長 物流・災害時の必要性を国に働きかける

協議会で現地確認をおこなっている。農地の貸出しも含め対応し、減少傾向にある。

A 村長

①本村のまちづくりは、日吉津村都市計画マスタープランで方向性が示される。

②国道431号沿線商業施設の道路整備は、開発事業者の負担によりおこなう。日野川右岸道路は、県が整備し令和10年に供用開始される。



▲国道431号の道路沿線



前田 昇 議員

ふるさと納税の使途決定に村民参画を

村長 村民発案の活動に基金活用も

ひえづのふるさと納税 総合政策課 027-5954

ふるさと納税制度は「好きなまちやむらを応援したい」「ふるさとを大切にしたい」など、応援したいまちやむらへ寄附ができる制度です。全国からいただいたたくさんのご寄附は、むらづくりの財源として大切に活用させていただきます。

返礼品で白吉津をP.R！

令和4年度の1年間で白吉津村に寄せられたふるさと納税の寄附実績と、寄附金の活用例の一部を紹介します。

寄附件数・・・1,996件
寄附金総額・・・63,233,000円

活用!

ふるさと納税の活用例

- ① 経費支援事業
給食・子育て世代が住宅を取得した場合に補助金を交付し、経済的支援をします。
- ② 子育て支援施設で活用
保育所・児童館などの子育て施設で使用される備品、図書、用品の購入に充てられています。
- ③ 河川敷運動公園等遊歩道管理
河川敷運動公園等の遊歩道を管理し、美しい自然環境の維持を図ります。

白吉津村へのふるさと納税寄附県内ランキング(ポスト5)

順位	自治体名	件数	寄附金額
1	東京都	560件	18,155,000円
2	神奈川県	178件	5,819,000円
3	大阪府	161件	5,182,000円
4	愛知県	112件	3,700,000円
5	兵庫県	100件	3,114,000円

▲ふるさと納税は、貴重な村への寄附

Q ふるさと納税(基金)の使途については、村民による村行財政検討委員会などで、チェックをいただくべきだと思いが、いかがか。

A 村長 ふるさと納税については、寄附者の意向に沿って決定する必要があるので、委員会で見解をいただく場は設けていない。決定した結果は、ホームページや広報で公表している。

Q 寄附額が多いのは「村長が必要と認める事業」であり、弾力的な決定は可能である。使途について村民からアイデアを募集してはどうか。

A 村長 自治会活動やコミュニティ活動にも活用している。さらに村民のアイデアをもとに、コミュニティ支援活動に活用できないか、検討していきたい。

村施策の民間委託と職員研修は、**社会変化に対し、人材育成を図る**。

Q 村民との「顔」の見える関係」が強みの本村職員の研修や海浜エリアの活性化のため、県外のコンサルタント会社へ連続して委託してしまうことに危うさを感じるが、いかに。

A 村長 行政経営アドバイザーについては、他の自治体への指導経験のあるアドバイザーへ委託し、本村の人材育成に活かしている。海浜エリアについては、官民連携手法による事業実施可能性について調査を行うため、民間会社に委託した。



▲ヴィレステの役割は、多様な学習支援

Q コロナ後の利用拡大を図りたいところだが、ヴィレステの申込者に、会費を徴収する事業は営利活動のため使用許可できないと言われたと聞いた。規則にも定められていない、従来と異なる対応、社会教育法か

ヴィレステの利用拡大と運営は、**村長 ヴィレステの利用は増えている**

A 総務課長 ホームページには、会費を徴収する事業は営利目的として使用許可できない旨記載されている。ワンコイン程度なら使用許可できると内々に決めてあったが、今回は無料にして使用いただいた申込者への説明が十分でなかったとしたらお断りしたい。

A 総務課長 からもありえない解釈だが、いかに。



石原浩明 議員

空き家対策について

村長 空き家解消は重要な課題

Q 空き家の増加について伺う。

- ①現在の空き家対策。
- ②将来的に空き家になるかもしれない世帯への情報提供や、対策。
- ③空き家利用への支援や補助金は。

A 村長 ①総合政策課

に移住・定住総合相談窓口を設置した。また空き家所有者等へのアンケートを基に、鳥取県宅地建物取引業協会へのあつせん、税金や

相続の相談を受けている。空き家の状況について、自治連合会でも、

情報提供を行っている。鳥取空き家利活用推進協議会に加入し、相談体制の充実を図っている。令和3年には市街化調整区域内で規制緩和区域の拡大をし、空き家解消への対策を図っている。

宅取得の場合、結婚・子育て世帯応援補助金を交付している。

Q 空き家を改築して利用する場

合にも支援の補助金等を検討しては。

A 総合政策課長 今のところは

ないが、他の自治体の状況も調査しながら研究していきたい。

特色ある教育活動について

村長 少人数学級の実現などを実施

①特色ある教育活動についての評価。

Q 4点について伺う。

②令和5年3月に空き家管理売却時の税登記講座をヴィレストヒューズで開催し、啓発に努めている。

A 村長 ①自分の思い・考えを伝える能力が育っていると評価している。

A 教育長 ②沖縄民泊学習で学んだことを発表会で、友達に伝える予

定である。

- ②平和学習を進めるための方策。
- ③英語学習を進めるための方策。
- ④6月以降の教職員の業務改善は。

③小学生向け英検を実施したところ、英語を「読む」「聞く」力が育っている。小学生向け英検は、英語力を図るのに適切なツールと考える。継続実施していきたい。小学校を卒業する段階で、自分なりに「できるぞ」という自信を持つてほしい。

④学期末の2週間に成績処理期間を確保した。



▲何とか空き家の解消を



▲沖縄民泊学習（令和5年8月）



橋井 満義

どうする「うなばら荘」

村長 西部広域と連携して対応する



▲荒廃した旧うなばら荘

Q 旧うなばら荘はいつたいたいどうなっているのか。多くの村民から問われる。毎回これについて質問してきたが再度確認しておく。

令和4年5月13日に村と(株)ヤードクリエーションで借地契約をおこなった。さらに同年6月には泉源とその土地を50年間無償譲渡するとし、議会の賛成多数で決まった。ところが同年9月17日には事業の中止の申し出があり、事実上頓挫した。その後令和5年1月17日、建物の元所有者である西部広域行政管理組合の正副管理者会が開かれ、建物所有権と本村との借地権を第三

者に譲渡する方針が決定された。その後、施設内覧会がおこなわれ、数社が見聞されたようであるが進展に至っていない。この現状をどう解決するのか喫緊の課題である。見解は。

A 村長

旧うなばら荘は西部広域の所有物であったが、令和4年5月に売却された。土地については、村と50年間の定期借地権を締結した。その後、新型コロナウイルスの拡大や資材高騰などの理由により中止したいとの申し出があり、建物は第三者譲渡に向けて、西部広域と村とが協力していくこととした。事業者から中止の申し出があった後に10数社の建物内覧があったようであるが、どの事業者からも具体的な事業提案はされていない。



▲旧うなばら荘

Q

事業者からの土地賃借料は年420万円の契約で、事業開始までの猶予が設けてあるが、現在どうなっているか。当該建物の解体責務はいつ、誰がおこなうものか契約内容はどうか。これらの法的対応はどうとっているか。

A

村長

土地借地料は事業開始するまでは10分の1としており、令和5年5月14日から支払いが発生している。建物解体については、事業者が当然おこなうものと理解している。法的対応として、弁護士と相談しておこなっている。



江田加代 議員

もう限界、物価高騰対策を 村長 今議会に対策を提案

Q 物価高騰が生
活を圧迫。深刻
なのは、値上げ品目が
日々の生活に欠かせな
い生活必需品であり、
収入の少ない家計ほど
不安が大きい。国、県、
村の今後の支援策は。

A 村長
国はガソリン
対策とあわせて、新た
な軽減対策を実行する
としている。それまで
の間は電気料金等の激
変緩和措置の期限が終
わる9月以後も継続す

る旨が示された。
村では、今9月議会
に「生活困窮者等、原
油高、物価高騰対策支
援金」を提案した。引
き続き、国、県の動向
を注視しながら、必要
な対策を検討したい。

A 村長
①令和3年度
まで介護用品の支給を
行っていたが、今年度
から、村独自で「在宅
介護サポート助成金」
制度に改正し、経済的
支援を行っている。

る旨が示された。
村では、今9月議会
に「生活困窮者等、原
油高、物価高騰対策支
援金」を提案した。引
き続き、国、県の動向
を注視しながら、必要
な対策を検討したい。

る旨が示された。
村では、今9月議会
に「生活困窮者等、原
油高、物価高騰対策支
援金」を提案した。引
き続き、国、県の動向
を注視しながら、必要
な対策を検討したい。

る旨が示された。
村では、今9月議会
に「生活困窮者等、原
油高、物価高騰対策支
援金」を提案した。引
き続き、国、県の動向
を注視しながら、必要
な対策を検討したい。

在宅介護に支援を

村長 「在宅介護助成金
制度」で支援

Q 在宅介護の負
担軽減を求め、
次の二点を問う。

- ①介護手当の支給を。
- ②夜間、休日の「安心
ダイヤル」の設置を。

時代にあった ごみ減量化を

村長 4 R運動を推進

Q 政府は地球温
暖化をふまへ、
2032年温室効果ガ
スを60%以上削減する

る旨が示された。
村では、今9月議会
に「生活困窮者等、原
油高、物価高騰対策支
援金」を提案した。引
き続き、国、県の動向
を注視しながら、必要
な対策を検討したい。

ごみを減らす4つのステップ「4R」

- 1 Refuse(リフーズ) 不要なものは断り、ごみを出さない。
- 2 Reduce(リデュース) 工夫してごみを減らす。
- 3 Reuse(リユース) 繰り返し使う、修理して長く使う。
- 4 Recycle(リサイクル) 分別して、資源として利用する。

目標を掲げている。

2032年稼働を目

指す西部広域の大型ご
み処理施設計画はプラ
スチックを燃やす計画
になっている。村長の
所見をうかがう。

A 村長
西部圏域の人
口減で、ごみ量の減少
が予測される。構成旧
市町村の施設を集約化
することで効率化、安
定的な運営、環境負荷
の面においても、有効
な計画であると認識し

る旨が示された。
村では、今9月議会
に「生活困窮者等、原
油高、物価高騰対策支
援金」を提案した。引
き続き、国、県の動向
を注視しながら、必要
な対策を検討したい。

ている。

令和3年に成立した

「プラスチックに係る
循環資源の促進等の法
律」の成立に並行して
基本構想を検討してき
た経緯があり、プラ
スチック類は分別品目
に入れる方向性になっ
ている。

る旨が示された。
村では、今9月議会
に「生活困窮者等、原
油高、物価高騰対策支
援金」を提案した。引
き続き、国、県の動向
を注視しながら、必要
な対策を検討したい。

住民課長

村では、環境

基本計画にあるごみの
分別とリサイクル、ご
み減量化と資源化の4
R運動を推進している。



▲店頭で品定めをする買い物客

ぜひ、お越しください

「ぎかい懇談会」のご案内

「ぎかい懇談会」を、以下の通り開催します。

村民の皆さんから、議会に対する疑問・要望、村政に対するご意見などをお聞かせください。今後の議会活動に活かしていきます。



開催日時	会場
11月12日(日) 午前9時～	日吉津上1公民館
11月12日(日) 午後7時～	海川公民館
11月19日(日) 午後7時～	今吉公民館
11月26日(日) 午前9時～	富吉公民館
11月26日(日) 午後7時～	樽屋公民館

* 5会場にて開催しますが、お住まいの自治会に関係なく、どちらの公民館でもご参加いただけます。

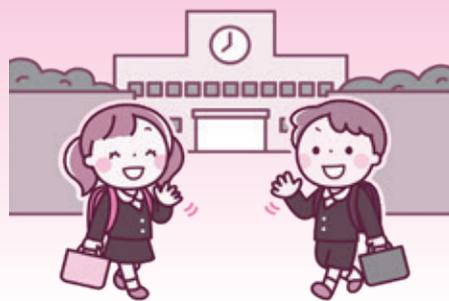
* 各会場とも、3名程度の議員が伺います。90分程度で終了する予定です。



▲写真は、昨年の開催の様子です。



育てよう



委員会・小学校などから5名が委員となって、の村民委員5名の方にインタビューしました。

Q1. 運営協議会へ参加されたきっかけは

井藤さん 保育所愛護会長をしていたので、声をかけられました。今年、PTA会長として委員になっていきます。



井藤健志さん

吉崎さん 児童の芋づくりなど、老人クラブでかかわりがあった、楽しくやっています。もっと若い人が良かったのではとも感じています。

石さん 更生保護女性会から委員となりましたが、孫は県外にいて、日頃子どものことが分からないので、私でよいのかと思いました。

ただし、非行防止や子育て支援のため学校

にかかわる女性会とは通じる点があり、お手伝いできることがあればと思います。顔見知りになった子どもが声をかけてくれたりして、うれしいです。「あなたのことを地域で見ているよ」というメッセージになると感じています。

兼本さん 交通安全指導員や小学校・保育ボランティアで、子どもたちとふれあう機会を持っていました。委員を引き受けました。

今の子どもたちは、自分や自分の子どもの頃とは、大きく変わっています。昔の遊びで子どもと楽しめたらと思っています。読み

聞かせの際、当初は緊張して汗をかいたこともあったのですが、子どもたちは真剣に聞き、すぐに反応を返してくれます。

田辺さん PTA会長をしていた頃、グラウンドの芝生化に取り組んできた経緯もあって、小学校の運営をお手伝いしたいという気持ちがあるので、引き受けました。

田辺さん 日吉津には、いろいろ体験できる行事があり、地域の方に教えてもらえてよいと思います。

Q2. 日吉津村、日吉津小学校の良いところは

吉崎さん あいさつが良い。大きい声でしてくれます。先生方がよく指導されていると思います。校長先生や先生方と子どもたちのなごやかな雰囲気がありますね。

井藤さん 子どもたちはみんな元気です。3年間、マスク着用してきたので、高学年の

転入した時、役場で「こんにちは」と声をかけられ、外からの人を受け入れる雰囲気を感じました。



石 敬子さん

女子あたりはマスクを外すことに、ちよつと恥ずかしさがあるようです。

ただ、日吉津の子どもたちは、幼い頃から温かいので、中学、高校と村外に通うようになると、大きな集団のなかで戸惑ったりしないか、とよく話しています。

Q3. どんな活動を

石さん かけ算九の学習で、聞き役をつとめました。子どもたちはうれしそう、その様子を見て私たちがうれしくなりました。

今後は、ミシンかけや調理実習、昔遊びなど、一緒に活動できるので話しています。

Q4. 今後の日吉津村は、どうあってほしいか

井藤さん 親・家族だけでなく、いろんな人とたくさんかわつて、気軽に声をかけ合うことができたらと思います。

石さん 子どもの声が届ける地域、自然が残って、子どもたちが体験できる村であってほしいです。

また、日吉津の子どもの声が届ける地域、自然が残って、子どもたちが体験できる村であってほしいです。

村民インタビュー

学校運営協議会委員の皆さん

みんな

運営協議会は、村民の委員さん9名と教育一昨年から取り組まれています。そのうち



▲かけ算九九の聞き役

井田博之教育長に聞く

コミュニティ・スクールとは。

「学校運営協議会」を設置している学校のことを「コミュニティ・スクール」と言います。

協議会委員は、学校運営について意見を述べ、校長は協議会の承認を得て学校運営基本方針を作成します。これまで学校のことは先生だけが決めて進めてきたものを、地域の意見も反映しながら教育活動を構築する「地域とともにある学校づくり」を推進するシステムです。同時に、子どもたちのためだけでなく、地域を元気にするのも「コミュニティ・スクール」のねらいです。日吉津の子どもたちの意見や20歳を祝う会のアンケート結果から、日吉津のいいところは、「人」だと言えます。多くの大人と関わるなかで自分が成長してきたことを、日吉津の子どもたちは実感してきているのです。

「コミュニティ・スクール」は、これまで大切にされてきた、「日吉津の子どもは日吉津で育てる」文化をクローズアップし、日吉津村を支える地域の人の活躍の「見える化」を図り、これまでの優れた取り組みを持続可能なものにするのに役立つシステムなのです。

*以上、ご協力ありがとうございました。

議会としても今後のためにしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

吉崎さん 都会で不登校気味となった子どもが、こちらへ引越して来たら、学校に行くようになったと喜んでいる人がいます。



吉崎 勇さん

ただ、日吉津で育った子が、就職や進学で外に出ていくことも多いので、大人になって日吉津で暮らしたい、働きたい、と思えるようになってほしいです。



田辺昌宏さん

田辺さん 自分の実家のある日野郡のみならず、米子市の市街地でも、独居世帯や空き家が多くなっています。人口減少は、避けられないことかもしれない

ですが、日吉津村は、各年代がバランスよく暮らす地域であってほしいです。国道沿いの開発によって、人が集まる仕組みを作ることの良いと思います。

石さん 以前は、ケーブルテレビをあまり見てなかったのですが、最近見ていると、いろいろな質問において、村の答弁に対して、議員から専門的な再質問がされていて見ごたえを感じました。

兼本さん 議会報は毎回見えています。うなばら荘がどうなるのか、など興味がありますから。

吉崎さん 議員の方が何を質問されているのか、議会報は興味を持って見えています。村に対しては、海浜公園の一部は草がのび放題、どうなっているのか分らないし、うなばら荘の温泉は良かったという声もあります。

Q5. 村や村議会に
対してひと言

井藤さん 正直な話、議員さんが何をされているのか分からないです。自分たちも関心をもつて見ていかなければと思います。

議会のうごき

村議会議員の人権研修

とき 8月8日(火)
ところ 役場第一会議室

身近な人権問題について理解を深めようと、全員参加の研修を行いました。村教育委員会人権教育推進委員の梅林智美氏の説明を受けた後「家庭からふりかえる人権・話せてよかった」(DVD) 視聴に続き、グループに分かれて意見交換、発表を行いました。

その後、8月18日、米子市で開催された県の人権集会にも参加しました。



西部町村議会議員研修会

とき 8月21日(月)
ところ 伯耆町 鬼の館

研修会の前に自治功労者の表彰式が行われ、終了後、中原美由紀氏(鳥取県西部総合事務所長)「コロナ後の鳥取県の取り組みについて」、相見晴久氏(株オロチ代表取締役)の講演「川上(生産)から川下(消費地)へ」日野川流域の林業について」をお聞きしました。



全国町村議会議員広報研修会

とき 8月28日(月)
ところ 全国町村議会会館
(東京)

議会報を編集するためのクリニック研修に広報委員全員で参加しました。講師は前田安正氏(文章コンサルティングファーム未来交創代表取締役)、事前に送付した各町村の議会報の修正点や「読み手に伝わる文章に直すポイント」など解説いただきました。



編集後記

集記



11月に入り、めっきり涼しくなりました。今回の議会ひえづはいかがだったでしょうか。

「議会のここはどうなってるの?」など村民の皆様のご意見をどしどしお寄せください。まっちょりまーす!

— 齊田 記 —

次回の定例会は
12月です



表紙 村民運動会

(芝生の上では6年ぶり)

【議会広報広聴常任委員会】

前田 昇・長谷川康弘

齊田 光門・石原 浩明

松田 悦郎